

気象遭難対策講習会2015 レポート

2015/7/18(土曜日)、名古屋市/愛知県スポーツ会館において、気象遭難対策講習会2015を開催しました。

開催日を3連休の初日に設定したためか、参加者は25名(講師、役員などを含む)であり、昨年より少なめでした。しかし講習会が始まると、全員が大矢康裕講師(気象予報士、ウェザーフロンティア所属、デンソー山岳部所属)のお話に聞き入っていました。

第一部の基礎編では、観天望気、山岳気象の3要素、地上天気図の見方と高層天気図の紹介、気象情報の活用法などについて、登山者の視点から、わかりやすく丁寧に教えていただきました。

面白くてためになったのは、第二部の応用編「遭難時の行動シミュレーション実習(GIG)」
「201X年夏の午後、富士山の富士宮ルート9合目付近を5名で登山中にスマホで噴火警報を受信した」と想定して「これからどう行動するか」を3つのグループに分かれて討議した後、発表し合いました。
普段から、火山の噴火や地震などのアクシデントに遭遇した時にどのように行動するかを考える訓練をしておくことはいざという時に慌てないためにとても大切ななあ・・・と実感しました。

第三部 今夏の天気の見通しでは、顕著なエルニーニョ現象予想されるため、以下の現象がおこりやすくなるそうです。

- ①台風が発生した時に、日本付近に接近しやすい
 - ②上空に寒気が入りやすくなり、大気の状態が不安定
- 夏山山行プランを考えるうえで、とても参考になりました。

